

今回の改定内容

1. 対象工種

I C T活用工事（土工・舗装工・舗装修繕工・法面工）

※ I C T活用工事（島根県農業農村整備事業版）実施要領（試行）も同要領を準用

※港湾・漁港工事における I C T活用工事（島根県版）実施要領についても同様に改定

2. 追加項目

「3-3 I C T活用工事实績証明書の発行」

①令和5年度以降の工事实績の場合

⇒発注者から工事完成後に発行・・・様式1

②令和4年度以前の工事实績、再発行等を受注者から求める場合

⇒受注者から申請し、申請内容を確認後に発行・・・様式2

証明書写しの電子データ（PDF ファイル）は、県の発注機関内で情報共有できるように共有サーバー内に格納する。

3. 適用開始日

令和5年4月1日

【記入例】

(様式1)

ICT活用工事実績証明書

令和5年 5月 1日

(受注者名) 様

〇〇県土整備事務所長 印

下記のとおり、ICT活用工事の実施を証明する。

工 事 名 〇〇線〇〇工区〇〇改築工事
工 事 箇 所 〇〇市〇〇地内
工 期 令和4年5月1日 ～ 令和5年4月28日
竣 工 検 査 日 令和5年5月1日
受 注 者 名 〇〇建設株式会社
監 理 (主 任) 技 術 者 名 〇〇 〇〇
ICT 活 用 工 種 土工

- 施工プロセス (該当箇所を「■」とする。)
- ① 3次元起工測量
 - ② 3次元設計データ作成
 - ③ ICT建設機械による施工
 - ④ 3次元出来形管理等による施工管理
 - ⑤ 3次元データの納品

発注者記載 備考欄

工事番号	J2299999
文書番号	〇〇第9999号

発行者は本書写しの電子データ (PDF) を共有サーバー「全庁共有>農林・土木共有【電子成果品保管フォルダ】>ICT工事実績証明書」内に格納すること

【申請内容の記入例】

(様式2)

ICT活用工事実績証明書

令和5年 4月 1日

〇〇県土整備事務所長 様

〇〇建設株式会社

貴下記工事について、ICT活用工事の実績を証明願います。

工 事 名	〇〇線〇〇工区〇〇改築工事
工 事 箇 所	〇〇市〇〇地内
工 期	令和3年5月1日 ~ 令和4年10月31日
竣 工 検 査 日	令和4年10月31日
受 注 者 名	〇〇建設株式会社
監理（主任）技術者名	〇〇 〇〇
ICT 活 用 工 種	土工
施工プロセス (該当箇所を「■」とする。)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 3次元起工測量 <input checked="" type="checkbox"/> ② 3次元設計データ作成 <input type="checkbox"/> ③ ICT建設機械による施工 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 3次元出来型管理等による施工管理 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 3次元データの納品

以下、発注者記入欄

上記のとおり、相違ないことを証明します。

令和 5年 4月 日

(証明者)

(証明する発注機関の長) 印

発注者記載 備考欄

工事番号	J2299999
文書番号	〇〇第9999号

発行者は本書写しの電子データ（PDF）を共有サーバー「全庁共有＞農林・土木共有【電子成果品保管フォルダ】＞ICT工事実績証明書」内に格納すること